

国際会議を支えていたのは
光の当たらない
市民たちだった——。

SOCIAL
JUSTICE

WE HAVE NOT
BEEN DEFERRED
YET END CLIMATE
IMPERIALISM

Recording
[COP27ドキュメンタリー]

気候危機が叫ぶ

The People Voice

COP27 ドキュメンタリー「気候危機が叫ぶ」
上映&監督トーク

8/3(木)

19:00~21:30

※18:45開場

【会場】 小金井 宮地楽器ホール・小ホール
JR武蔵小金井駅南口駅前

【料金】 一般1,500円 学生1,000円

【チケット】 Peatix又は宮地楽器ホールにて販売

※当日券少数のため、事前購入をお勧めします



登壇： 山本大貴 さん
総合監督/record 1.5共同代表

チケット
(Peatix)



「私たちは希望を
絶望も感じた」

COP27
SHARM EL SHEKH
EGYPT 2022

— 国際会議を支えていたのは
光の当たらない市民だった —



エジプト、シャルム・エル・シェイクにて、2022年11月6日から約2週間かけて行われた、国連気候変動枠組み条約第27回締約国会議（通称、COP27）とそれを取り巻く出来事をまとめた。撮影が許された場所のみでカメラを回し、報道されず普段注目を浴びない人々の声の記録となっている。

また、リゾート地での開催がゆえに市民が参加できず、なおかつエジプト政府からの社会運動や人権への弾圧により、COP27が開始してすぐの段階では、アクティビストたちも恐る恐る声を挙げる姿が見られた。

次に拘束されるのは私かもしれない。しかし、私たちがその地で参加することには意味がある。

— The people united will never be defeated!
団結した市民は決して屈しない! —



限られたエリアのみデモンストレーションやストライキなどのアクションが許され、徐々に各々の「声」を発し始めた「市民 the people」。

会場内では特定の人物、団体、国などを批判することが国連の規則で禁止されながらも、彼らは何を、誰に伝えたかったのか。COPの外側を今、ここで、ドキュメンタリーという形で記録する。このドキュメンタリーを通して、これまで聞くことのなかった声から気候危機の「危機感」や多様な叫びを知ってほしい。そして、日本のメディアではほとんど発信されないCOPの現場の空気感を何度でも感じてほしい。

今回上映されるディレクターズカット版は、YouTube版には無い、総合監督2人のリアルな姿や葛藤を含んだ内容となっております。

[COP27ドキュメンタリー]

気候危機が叫ぶ

【作品名】「COP27ドキュメンタリー 気候危機が叫ぶ Recording The People Voice」

【作成/著作】気候危機を記憶する発信型ムーブメント record 1.5

総合監督：中村 涼夏 山本 大貴

record 1.5公式HP

予告映像

